



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

京都部



京都部 部報

Bulliten 2011-2012 年度 第1号 2011. 7 発行

京都部部長主題 志を共有し、小さな1歩大きな前進 =思いやりと感謝の気持で粘り強く=

西日本区理事主題 ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献
"Contribute to the Community through Active Services with Love"
副題 理想を目指して変革と行動!
"Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal"
国際会長主題 "Audere est Facere - To dare is to do"
「とにかくやろう - 成せば成る」
アジア地域会長主題 "To dare is to do" 「とにかくやろう - 成せば成る」
スローガン "Mission with Faith" 「信念をもって使命をはたそう」

「志を共有し、小さな1歩大きな前進」

=思いやりと感謝の気持で粘り強く=

第16代京都部部長 前 登(京都みやびワイズメンズクラブ)



今期の部長標語、活動方針は、「志を共有し、小さな1歩大きな前進」=思いやりと感謝の気持で粘り強く=として、志を共有しベクトルを同方向に向け、思いやりと感謝の気持ちを常に忘れず1歩ずつ前にすすむことを目指す、とさせていただきます。この中の「志の共有」と「ワイズで生きがい」について、私の思いを以下にあげてみると「志の共有」によって生まれることとして

- ・YMCA活動や地域奉仕、環境活動に対する活動方法や優先順位などの違いの差を大同小異として、ワイズの大きな目的や意識を理解して共有することが、それぞれの活動の原動力を生みます。前向きに物事を考える力の源泉になります。考え方や志の違いは大きなロスになります。

- ・各クラブが目的や意識を共有しつつ、特色をもって活発な奉仕活動にクラブ間やクラブ内にて切磋琢磨することが、自己研鑽とリーダーシップの開発に結びつきます。たとえば、ワイズの役職につくことはリーダーシップ勉強の自己研鑽であり会長職はそのよい実践例です。

- ・大きなクラブはとかく小さなクラブに対して上から目線でみがちです。価値観の違いも顕著になりがちです。強いクラブがひととき先んじて前進するばかりではなく、多くのクラブが1歩ずつ前進できるような思いやりをもった志の共有が大切だと思います。

「ワイズでの生きがい」については

- ・ワイズの目的の2項にある「相互理解と敬愛の思いに結ばれて」は宗教をこえて、小さき弱きものにも広く心をくばり、他の者を信じて疑わず継続するときに必ず光明が必ず見えてくると信じます。またこの“他の者を信じて疑わない”心が大切です。

- ・ワイズのモットーである「強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う」ということは「継続と最後まであきらめない実行力は、必ずや物事の成就を可能にする」という強い意思でしょう。

- ・人の幸せは他人のものさしでは計れません。他の人の喜びや悲しを感じる感性を身に付けることで、他の人の喜びや成長を自分のものに真に共有することができます。ただモットーにある「強い義務感」のみでワイズ活動を継続するのは、凡人としてはかなりしんどいことです。全メンバーが義務感のみではなく、ワイズの活動を通して先輩方やまわりのメンバーに共鳴して「生きがいや幸せ、充実感などを感じられ、共有することができる」ようになることを、切に望んでおります。

11～12 年度 評議会メンバー

11～12 年度 部長公式訪問日程

構 成 員	部 役 員	部　　長	前　　登 (京都市みやびワイズメンズクラブ)
		次期部長	船木　順司 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		直前部長	阪田　民明 (京都パレスワイズメンズクラブ)
		監　　　事	山中　將平 (京都洛中ワイズメンズクラブ)
	ク ラ ブ 会 長	京都ワイズメンズクラブ	新井　美子
		福知山ワイズメンズクラブ	足立　長逸
		京都パレスワイズメンズクラブ	森田美都子
		京都ウエストワイズメンズクラブ	島田　博司
		京都めいぶるワイズメンズクラブ	柴田　信幸
		京都キャピタルワイズメンズクラブ	八木　悠祐
		京都プリンスワイズメンズクラブ	岡西　博司
		京都センチュリーワイズメンズクラブ	駒谷　憲美
		京都ウイングワイズメンズクラブ	島本　浩晃
		京都洛中ワイズメンズクラブ	太田　雅彦
		京都エイブルワイズメンズクラブ	梅谷　隆雄
		京都グローバルワイズメンズクラブ	中島　　勝
		京都市みやびワイズメンズクラブ	武本　　聡
		京都トップスワイズメンズクラブ	東田　吉未
		京都トゥービーワイズメンズクラブ	石井　康史
		京都東稜ワイズメンズクラブ	近藤　　勉
京都ウェルワイズメンズクラブ	松田　博一		
京都 ZERO ワイズメンズクラブ	高倉　英理		
答 弁 義 務 者	部 役 員	YMCA サービス・ユース事業主査	伊藤　　剛 (京都トゥービーワイズメンズクラブ)
		地域奉仕・環境事業主査	堤　　　雄次 (京都パレスワイズメンズクラブ)
		EMC 事業主査	萩原　隆人 (京都グローバルワイズメンズクラブ)
		ファンド事業主査	吉田　忠文 (京都センチュリーワイズメンズクラブ)
		交流事業主査	今村　隆宏 (京都ウイングワイズメンズクラブ)
		広報事業主査	倉田　正昭 (京都ワイズメンズクラブ)
		メネット事業主査	山中　真理子 (京都洛中ワイズメンズクラブ)
		事務局長	有澤　泰伸 (京都市みやびワイズメンズクラブ)
		書　　　記	森　　　泰弘 (京都市みやびワイズメンズクラブ)
		会　　　計	岡崎　保則 (京都市みやびワイズメンズクラブ)
		京都YMCA　統括連絡主事	

クラブ名	年月日	曜日
京都キャピタルワイズメンズクラブ	2011 年 7 月 19 日	火
京都トゥービーワイズメンズクラブ	2011 年 8 月 10 日	水
京都グローバルワイズメンズクラブ	2011 年 8 月 17 日	水
京都ウイングワイズメンズクラブ	2011 年 8 月 18 日	木
京都めいぶるワイズメンズクラブ	2011 年 8 月 22 日	月
京都パレスワイズメンズクラブ	2011 年 8 月 24 日	水
京都ワイズメンズクラブ	2011 年 9 月 13 日	火
京都トップスワイズメンズクラブ	2011 年 9 月 14 日	水
京都洛中ワイズメンズクラブ	2011 年 9 月 22 日	木
京都みやびワイズメンズクラブ	2011 年 9 月 22 日	木
京都プリンスワイズメンズクラブ	2011 年 10 月 5 日	水
京都ウエルワイズメンズクラブ	2011 年 10 月 5 日	水
京都東稜ワイズメンズクラブ	2011 年 10 月 13 日	木
京都エイブルワイズメンズクラブ	2011 年 10 月 25 日	火
京都 ZERO ワイズメンズクラブ	2011 年 11 月 10 日	木
京都ウエストワイズメンズクラブ	2011 年 11 月 24 日	木
京都センチュリーワイズメンズクラブ	2012 年 1 月 19 日	木
福知山ワイズメンズクラブ	2012 年 2 月 14 日	火

11～12 年度 評議会・役員会日程

年月日	曜日	評議会	役員会
2011/06/19	日	第 1 回	
2011/07/01	金		第 1 回
2011/08/05	金		第 2 回
2011/09/02	金		第 3 回
2011/09/11	日	第 2 回	
2011/10/07	金		第 4 回
2011/11/04	金		第 5 回
2011/12/02	金		第 6 回
2012/01/06	金		第 7 回
2012/02/03	金		第 8 回(合同)
2012/02/12	日	第 3 回	
2012/03/02	金		第 9 回
2012/04/06	金		第 10 回
2012/05/04	金		第 11 回
2012/06/01	金		第 12 回(合同)
2012/06/24	日	第 4 回	

第16期 京都部予算(案)

2011.07.01～2012.06.30

収入の部

単位:円

科 目	第14期決算額	第15期予算額	第16期予算額	備 考
部費	1,290,000	1,263,000	1,377,000	459人で算出(@¥3000)H23.1.1半年報
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	87,000	84,200	91,800	西日本区より部一律 部メンバー1人当り¥200
西日本区ファンド収益	0	0		
利息	275	0		
単年度収入小計	1,477,275	1,447,200	1,568,800	
前期繰越金	887,060	787,256	421,456	
合計	2,364,335	2,234,456	1,990,256	

支出の部

単位:円

科 目	第14期決算額	第15期予算額	第16期予算額	
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@ ¥20,000×7事業
部事業費	371,151	495,000	495,000	
会議費	118,000	125,000	125,000	役員会・評議会・三役会会場費等
印刷費	282,796	284,000	184,000	部報・会議資料等
部会補助費	415,939	437,000	472,000	@ ¥1,000×472人(連絡主事含)
研修費	200,000	221,000	238,000	研修会登録費
公式ビジター受入費	0	20,000	20,000	
通信費	41,560	41,000	41,000	郵便・電話・部ホームページ維持費
事務費	0	30,000	30,000	
慶弔費	7,633	20,000	20,000	
単年度支出小計	1,577,079	1,813,000	1,765,000	
次期繰越金	787,256	421,456	225,256	
合計	2,364,335	2,234,456	1,990,256	

特別会計収入の部

単位:円

科 目	第14期決算額	第15期予算額	第16期予算額	備 考
前期繰越金	150,958	150,958	150,958	
一般会計より	200,000	200,000	200,000	リーダー支援金
合計	350,958	350,958	350,958	

特別会計支出の部

単位:円

科 目	第14期決算額	第15期予算額	第16期予算額	備 考
YEPP支援支出	0	0	0	
YC支援金	200,000	200,000	200,000	リーダー海外研修支援
予備費	150,958	150,958	150,958	
合計	350,958	350,958	350,958	

第16期 京都部予算(案)支出の部

2011.07.01～2012.06.30

単位:円

科 目	細 目	16期予算額	備 考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業運営費・資料・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
小計		140,000	
部事業費	YYフォーラム	40,000	
	CSチャリティーボーリング	50,000	
	事業懇親会	35,000	5,000×7事業
	国際協力募金支援	30,000	参加リーダー交通費等
	ワイズデー事業	50,000	
	予備費	10,000	
	合同メネット会関連	80,000	会場費含む
	特別会計へ	200,000	リーダー海外研修派遣支援
小計		495,000	
会議費	役員会	36,000	三条YMCA教室 ¥3000×12
	次期役員会	15,000	三条YMCA教室 ¥3000×5
	評議会	74,000	三条YMCAマナホール×2 福知山会議室×1
	三役会		
小計		125,000	
印刷費	部報	146,000	3報印刷代 印刷1報+ホームページ2報
	会議資料	38,000	
小計		184,000	
部会補助費	京都部部会補助	472,000	@1000×472人(連絡主事含む)
研修費	部長	17,000	1月次期役員研修会
	次期部長	34,000	1月次期役員研修会 3月次期会長主査研修会
	次期主査	119,000	3月次期会長主査研修会
	次期三役	68,000	1月次期役員研修会4名
小計		238,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	
	部ホームページ関係	31,000	
小計		41,000	
事務費	事務備品経費	30,000	
慶弔費	慶弔費	20,000	
公式ビジター受入費		20,000	
支出合計		1,765,000	

特別会計支出の部

単位:円

科 目	細 目	16期予算額	備 考
YEEP支援支出			
YC支援金		200,000	
予備費		150,958	
合計		350,958	

京都部 2011～2012 年度 役員・会長 抱負



次期京都部部長 船木 順司
(京都トップスワイズメンズクラブ)

「志を共有し、小さな1歩大きな前進」各クラブ個性豊かな活動を繰り広げておられる中、京都部は各クラブの多種多様な活動や個性を理解し、共有する事に努め、緩やかでも確実な一歩を歩んで行く。その様に部長標語を理解しております。各クラブのスタイルは違えども志は同じです。ワイズメンズクラブ、YMCA の繁栄こそが我々の活動の原点です。

世の中、混沌とする中、夢や希望、目標を抱きにくい時代になっています。今こそ、ワイズメンズクラブ、YMCA はその実績と英知を集結し活動する事が社会への最大の貢献であり、我々の目指すところではないでしょうか！前部長の下、次期部長として京都部の運営に携わることができる喜びを感じると共に、皆様と志を共有しながら京都部の発展に尽くしたいと思います。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



京都部監事 山中將平
(京都洛中ワイズメンズクラブ)

新年度が始まる時、京都部の役員の皆さんは経験された各クラブの役員以上にプレッシャーを感じられたと思います。しかし、今年度も周到な準備をされ、スタートした瞬間にプレッシャーから解放され、全力で前へ進んでおられると思います。私たち監事や直前部長は京都部の審判ではなく、スタート時の緊張感を和らげ、順調にスタートし、無事にゴールできるよう少し先導したり、時には補助エンジンとなったりすることが役目だと思っています。前登部長は部長主題の副題を「思いやりと感謝の気持で粘り強く」とされています。これから1年、役員の皆さんが各クラブ、各メンバー、YMCA等に思いやりと感謝の気持を忘れずにそれぞれの役職に全力を注がれれば、私たちは先導することもなく、補助エンジンも使わずにただ見守っていればよいはずで、「大きな前進」を期待しております。



京都部直前部長 阪田 民明
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

多くの京都部メンバーのご協力で一年間無事に部長職を終えられました事に心より感謝致します。今期は直前部長の立場で前登部長の元、役員の一員として微力では御座いますが、部の運営に協力をさせていただきます。丁度一年前、山中將平部長から引継ぎを受け、事業の継続と、新規事業の準備等、限られた予算の中苦勞をしていた事つい其処に感じます。始まるまでは長い一年も、終わると短い一年です。積み残した事も多く、次期にお願いをしています。限られた一年で思いを全うする事は大変ですが、役員一同が楽しい充実した一年に成り、笑顔で終わる事期待いたします。



京都部 書記 森 泰弘
(京都みやびワイズメンズクラブ)

今期京都部書記をさせて頂く京都みやびワイズメンズクラブの森です。前部長の下、部長の想い、各事業主査の想いを部長標語に基づき活動方針を部長と共に共有し、1年間の短い期間を遂行していきたいと思ひます書記の業務としましては、事務局長と協働し、京都部役員の皆様や各クラブの会長の皆様とのパイプ役として一年間スムーズで円滑に伝達できるように努めてまいりたいと思ひます。

個人的には、各クラブ会長及び各事業主査と新たな交流の場と出来ることを楽しみにしております。短い期間ではございますが、微力ながら精一杯頑張る所存ですのでご協力の程よろしくお願い致します。



京都部会計 岡崎 保則
(京都みやびワイズメンズクラブ)

我が京都みやびクラブより前部長を輩出するにあたり、メンバー数が少ない中でも京都部の三役は、クラブ内で出すことが決まり、2009～2010の山中部長（洛中クラブ）期に続き、2回目の京都部の会計を担当することになりました。前回同様、正確な仕訳、記帳は勿論、各クラブからお預かりした貴重な資金を有効に生かすため、部長をはじめ各役員と協議の上、京都部としての活動をサポートさせて頂く所存です。現在、京都部内では部費の値上げが協議に上っております。確かに繰越金は年々減少しているのが現状ですが、この問題は京都部のメンバー数、西日本区と各クラブの中間にある「部」の存在意義、そして、部のリーダーシップの問題でもあります。今後大いに協議、検討する必要があると思います。



京都部事務局長 有澤 泰伸
(京都みやびワイズメンズクラブ)

今期京都部事務局長をお受け致します有澤です。長年のワイズ活動で培われたエネルギーを部の役職に注ぐ所存です。事務局長の役職は、特に部と各クラブ会長様との大切なパイプ役（資料配信・お願い…etc）と認識致します。私がワイズに入会した当時はまだ京都府内に4クラブ、現在とは違い北西部に所属し、私が初めて参加した部会が鈴鹿サーキットで開催されました北西部会です。そして、部も在京クラブ数が飛躍的に増え、京滋部、京都部と変遷して行きました。又、連絡手段も電話連絡や郵送からFAX通信そしてITや携帯電話と素早い情報の伝達が容易になってきましたが、それを扱うのは人です。機械に操られることなく、ひとの心を大切に情報伝達を心掛けたく思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。



京都部統括連絡主事
加藤 俊明
(京都YMCA)

京都部18クラブには、それぞれの成立の思い、歴史、規模、クラブ運営のやり方があり、YMCAとの関わり方においても様々な関わり方があります。しかし、違いがあるからこそクラブ内でメンバー同士がそうあるように、クラブ同士の切磋琢磨が生まれるのだと思います。Yサ事業としての関わり方もこれだけクラブ数があると一様である必要は無く、それぞれのクラブでの関わり方があって当然だと思います。しかし、そうはいってもワイズメンズクラブである以上YMCAサービスを抜きにしてはその存在意義を失う事になります。

京都YMCAの公益法人への移行にあたり、今までやってきた事業だからで無く、もう一度それぞれ自分達のクラブにおけるYMCAサービスとは何かを考える機会としていただけるよう各クラブへのアピールをしてゆければと思います。



YMCA サービス・ユース事業主査
伊藤 剛
(京都トゥービーワイズメンズクラブ)

京都部Yサ・ユース事業主査をさせていただきます、トゥービークラブの伊藤です。今期は主題を「良きパートナーシップの確立を目指して！」とさせていただきます。

Yサ事業は、6月のリトセン夏期準備ワークに始まり、一年間を通して多くの事業があります。これらの事業に積極的に参加していただく事で、YMCAそしてユースに対する理解も一層深まり、ワイズメンズクラブがこれらの良きパートナーとして存在できるのではないかと考えます。その中でも特にY・Yフォーラムは、我々ワイズメンがYMCAやユースを、そしてユースがワイズメンを知る良い機会であります。Y・Yフォーラムの内容の充実を計りながら良い交流の場となるよう実施していきたいと思っています。Yサ献金へのご理解とご協力も宜しくお願い致します。



地域奉仕・環境事業主査
堤 雄次

(京都パレスワイズメンズクラブ)

地域奉仕事業は、各クラブの中でも忙しい事業に分類されると思います、また数年前よりそこに新たに、環境の文字が追加されて、地域奉仕・環境事業となり、大変忙しい事業となりました。よって各クラブ内においてどの事業でもいえることですが、メンバーの協力の重要性が増してまいりました、どうせやらなければならないのなら、メンバー全員が楽しんで事業を行っていきけるような環境になれば、より充実した信頼性、安心感のえられる事業をこなしていけるし、新しいアイデアも出てくるのでは、と思います。

今期京都部に於きましては、前年度まで横浜で開催されていましたが、AIDS文化フォーラム in 横浜を、今年は京都で開催されることが決定されましたので、今年はAIDS文化フォーラム in 京都となります、HIV/AIDSからロールバックマラリアへと西日本区では進んでいるようですが、上記フォーラムの事務局が京都YMCAでありますので、微力ながら協力をしたいと思っています、でありますので今期は、HIV/AIDSの方を重点目標にしたいと考えています、また、新しい取り組みでもありますので、メンバーの皆様方に、会長、委員長を通じて様々な御願いを、急発信するかもしれませんが、その節はどうか広い心を持ちましてご協力を宜しく御願い申し上げます。



EMC事業主査
萩原 隆人

(京都グローバルワイズメンズクラブ)

今期EMC主査を務めさせていただきます京都グローバルクラブの萩原隆人です。主題として「一人の一步でさらなる飛躍」とさせていただきましたのは、新たにZEROクラブがチャーターされ18クラブとなり多くのメンバーが増えた前期に引き続き、今期もさらなる飛躍を目指そうとの思いからです。そのために一人一人がクラブの10年後20年後を見据えて活動されることを期待します。

ここ数年の経済状況や各地に未曾有の被害をもたらした東日本大震災等困難な状況ではありますが、部長標語「志を共有し、小さな1歩大きな前進」にありますように京都部が一丸となりワイズを牽引していく時だと感じております。今期においてもそれぞれのクラブが今以上のクラブになるヒントが見つけれられるよう、懇談会・シンポジウムを開催しますので多くのクラブの皆様の参加をお願いします。

京都部が常時500名体制を維持し、さらに555名を達成できるよう、各クラブの会長、EMC委員長及び皆様のご協力のもとこの1年間活動しますのでよろしくお願い致します。



京都部ファンド事業主査
吉田 忠文

(京都センチュリーワイズメンズクラブ)

「初心忘るべからず」

通信手段の主流がパソコンや携帯になり、切手を使用する頻度は少なくなりました。しかし使用済み切手による資金集めの活動は約八十年の歴史があり、時間と労力を使って切手の収集・換金による「無から有」を生み出す発想はファンドの原点であります。地味な切手収集がワイズの国際理解を深める第一歩であり、初心を忘れずBFの目的と意義を再認識してワイズダムの発展に寄与したいと思います。

クラブ内ファンドは、収益の中心がじゃがいもであるクラブも多い一方、ほとんどのクラブが収益の確保のため販売商品を多角化、あるいは独自の収益方法を模索されている現状です。地域支援活動から出発したじゃがいもファンドの初心を忘れず、より効果的にファンド収益を確保することが大切です。京都部としても各クラブ間の交流促進や情報交換の場を設けることによって、クラブファンド事業の活性化につなげる手助けが出来れば幸いと考えております。



交流事業主査
今村 隆広

(京都ウィングワイズメンズクラブ)

『思いやりをカタチに』

今期、交流事業主査をさせて頂くにあたり、主題を『思いやりをカタチに』とさせていただきました。これは東

日本大震災が起こり数日後、TVのコマーシャルがほとんどACのコマーシャルになっていた時に、皆さんもご覧頂いた事がある『心は誰にも見えないけれど心づかいは見える。思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える』という宮沢章二さんの《行為の意味》より抜粋された一文です。

私が入会をして間もない頃の20年くらい前、当時27歳でしたが、その当時クラブの委員会が活発で、ほとんどメンバーの家にお邪魔しては、朝まで飲み明かし、クラブの事を真剣に意見をぶつける人が多かったです。あまり意味が分からなかったのですが、その場で酒を飲むのがとても楽しく感じました。心のこもった交流を感じ、その親睦が大きな輪になっていたと思います。

活動の計画はIBC、DBCの交流の情報を伝達しクラブの活性化を図って行きましょう。YEPP、STEPの活用を促し若いリーダーの援助、育成を促進していきます。そして私が特に今期お願いしたいことはクラブを超えたメンバー間の交流です。できるだけ、合同例会の開催やクラブの事業参加を促し、親睦を重ねる事により、思いやりの心が、カタチ（行動）になると確信しております。2008年～2009年の同期、京都部の会長会は今でも続いています。在籍したクラブを事情により退会されても、この会には出席されています。たった一年では作り上げられないのが、本当の交流ではないでしょうか？IBC、DBCもメンバー間の交流も形にとらわれずに、思いやりをもって関わることでより素晴らしいワイズライフを実感出来ると思います。最後になりましたが、各会長様、委員長様、計画と実行、そして報告をよろしく願いいたします。



広報事業主査
倉田正昭
(京都ワイズメンズクラブ)

主題：ネットで広げよう 世界のワイズと……

Let's make friends of Y's Men & Women all
over the world on the Internet.

今回縁あって、京都部 広報事業主査を担当させていただくことになりました。

「ワイズの役職は向こうからやってくる」とよく言われますが、ワイズに入会してから、京都国際大会、横浜国際大会という大きなイベントがあり、また阪神淡路大震災、東日本大震災という大きな震災も起こりました。そしてYMWの翻訳にたずさわりながら、その時々でいろいろな役割を担当させていただきました。それらの経験を元に広報として動いてみたいと思っております。

今期、西日本区からはリーフレットの作成と配布に、また部からは、HP関連にそれぞれ強調されています。広報は、Yサ、EMC、DBC、IBCとあらゆる事業とリンクしています。これからはその時代、時代に即したチャンネルを利用して波に乗っていく事が大切です。

今や多くの若者達は、新しいメディアを利用してコミュニケーションをとっています。若い人達をワイズに誘おうというのであれば、それらのツールを駆使した広報活動が必要なのではないでしょうか？

ロ々に若い人達をワイズに入れようと言いながら、そのコミュニケーションの中に入っていけないのが現実です。リーフレットを渡すにしろ人に会わなければなりませんし、素晴らしいホームページを作り更新しても、それを人に見てもらわなければ意味はありません。

それゆえ、facebook などソーシャル・メディアといった新しいツールを利用したワイズのネットワーク化がこれからは必要だと思います。頭の中は無限に広がる宇宙です、人脈とアイデアをコラボレートして、みんなでワイズの広報活動を広めていただきたいと思います。

合言葉は“Facebook Me !”

facebook



メネット事業主査
山中真理子
(京都洛中ワイズメンズクラブ)

『メンと共に歩める喜び』今期私の掲げた主題です。一人でも多くのメネットさんにメネットのプログラムだけではなく、各クラブのプログラム、ワーク、大会等に参加して頂き、メンバーの活動をメネットが少しでもフォロー・サポートし、ワイズが夫婦共通の話題となり、共通の楽しみになればと思います。西日本区のメネット国内プロジェクトへの協力として、東日本大震災で被災した子供たちのサポート、心のケアのために派遣するYMCAリーダー及び関係者の活動費を支援することになりました。多くの方が苦しんでいるこの現実の中、未来ある子供たちが元気や笑顔を取りもどせるよう少しでもお役にたてればと思います。クラブにメネット会があるなしにかかわらず、ご協力をいただければ幸いです。また京都部のメネット同士の親睦を深めるため例年京都部部会と同日に開催致しております「京都部合同メネット会」は、部会が福知山での開催となりますので、日を改め10月9日(日)京都ロイヤルホテル&スパに於いて、フラワーアレンジメントの体験を企画しております。多くのメネットさんにご参加を頂き、楽しい時間を持つことができればと思います。この1年、多くのメネットさんに出会えることを楽しみにしております。



京都ワイズメンズクラブ
会長 新井 美子

= 会長主題 =

いきいきとあたたかいワイズライフは仲間とともに

第64代京都クラブの会長として、今、身の引き締まるような思いでいます。果たして私はクラブに対して何が出来たのだろうかと自問自答を繰り返し、気が重くなるような気持ちでいました。今までは、ただ興味ある楽しそうな活動にだけ参加していたといっても過言ではないのに、一年間リーダーシップを発揮しなければなりません。大先輩ばかりなのに、とても無理とと思っていましたが、経験豊富なメンバーが強力にサポートして下さいます。頼ってばかりもいけないとは思いつつも心強いことこの上ありません。1人でやるのではないんだ、皆でやればいいのだと思うと少し気が楽になりました。

今年は千年に一度といわれる東日本大震災がありました。被災された方々とボランティアや関わる方々の力を合わせて助け合う姿に、改めて人と人とのつながりの大切さを痛感しました。1人ではできない、しかし皆が力を合わせればできる。しっかりと胸に刻んで取り組みたいと思います。ワイズメンズクラブにもたくさんの仲間がいます。会長を通して、もっと多くの仲間と知り合い、絆を深めていくのが楽しみです。



福知山ワイズメンズクラブ
会長 足立 長逸

= 会長主題 =

共に支え合って 今こそクラブの再生を

1963年3月チャーター以来、48年目の福知山クラブ、2年後に50周年を控え、今期は何としてもクラブ再生の軌道に乗せる最後のチャンス、強固なスタートラインをかためて立ち上がらなければならないことを、全メンバーが互いに認め合って起動しなければなりません。チャーターメンバーとして入会したのが32歳、当時福知山BBS会長として40数名の仲間と保護観察や家裁の試験観察などの大勢の少年と、友達活動によってその更生を支援するため、全力投球していた者にとって、ワイズは、世の中にはこんな優雅な社会奉仕クラブもあるんだと、

非常に奇異に感じたものでした。

1979年4月、我がクラブは、福知山YMCA会館を造りました。当時の福知山クラブのメン・メネット・コミットが、休日や夜間の寸暇を惜しんでの1年間の奉仕作業で、京都YMCA宇治ブランチを解体、運搬した手造りの福知山YMCA会館を完成させ、当時のワイズ国際会報で「small but great」と写真付きで大きく紹介されたのでした。

その後この会館（1教室1事務所）の保守、管理と教室の運営に、またこの会館を拠点とするクリーン弘法川&魚つかみ大会などを福知山クラブが全面的に支え行動していることは、地域社会からも高く評価されているところです。

この地域奉仕活動に対する多くの市民の大きな期待に応えるためにも、自分自身が育てられたワイズ、良質なメンバーとの交わりを大切にして、一人でも多くの仲間を増やし、YMCAと共に世のため人のために役立ちたい、メンバー倍增、それはメンバーひとり一人の自己啓発にもつながるものだと思います。



京都パレスワイズメンズクラブ
会長 森田 美都子

= 会長主題 =

“It goes on!”

「弛まざる進歩を読けよう、親睦という母の懷に抱かれて」

昨年一年間はパレス全員が一丸となりメンバー数100人を目指してひたすら走り読けました。結果、約70名メンバー体制が確立しいよいよ今期へと多くの課題と可能性満タンのバトンタッチ。今期も今やカスタムとなりつつある新人獲得の手綱を決して緩めることなく進みます。そして何よりも入会したメンバーに対して一人一人を丁寧に親睦という懷へ温かく包み込みクラブ→京都部→西日本区→日本全エリア→国際エリアへと導き広い視野を以って真のワイズ活動の喜びを体感し深く溶け込める期にしたいと思うのです。そこから各委員会の活性化、充実性、新発想が自ずと溢れ出て来ることでしょう。

パレスクラブは今期で41周年となり私が初の女性会長となります。過去40名の会長英明に肖るばかりの臆しながらの拝命です。次代を担うメンバー達の選択肢がよりバリエーション豊かになる突破口になる事を願っております。ただ努力あるのみです。一年間をパレスクラブメンバーと共に弛むことなく全力で邁進を読けます。



京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 島田 博司

= 会長主題 =

Let's try

～ウエストの未来をみんなの手で～

今期は安平前会長の会長主題「未来へ Kick off」～温故知新～そして、新たなステージへを受け継ぎ Let's try! ～ウエストの未来をみんなの手で～とさせていただきます。会長テーマの try は“challenge＝挑戦”とは違ったとらえ方を私はしています。各メンバー、役員、三役のみなさんが、それぞれの立場で今までとは違ったことに try してほしい。とにかく些細なことでもいい、何かを始めてほしいという思いをこめて、1年間私自信も try していこうと思いこのテーマとしました。その小さな“行動”をメンバーのみんながすることによって今後のウエストの未来が開けて行くものと思っています。合言葉は『Let's try!』です。この言葉をメンバー全員で共有しクラブが1つになれるよう try していこうと思います。

具体的にはマンネリ化の改善です。私は月に一度の例会が大好きです。楽しい、面白い例会にするために、ドライバー委員会だけに頼るのではなく、三役が考え、企画する例会があつていいと思います。交流委員会が交流というテーマで企画する例会があつても面白いと思います。あくまでもドライバー委員会が中心となり、主導していただくことは基本ですが、その中にはやはり「あそび会」とは違ったメリハリのある企画を考えていただき、楽しく、面白い例会にしたいです。委員会の枠を超えた、みんなで考え try する、そんな一年がすごせたらと思います。

おりしも3月11日、関東・東北地方で計り知れない被害をもたらす大地震がおこりました。東北地方の被災地では1年や2年では復興できない大変な被害が連日報道機関を通して私たちの目に飛び込んできます。私たち奉仕クラブはこんな時どうすればいいのか？どのような行動をすればいいのか？を私の会長期では長期的に考え、行動し次期にもつなげていきたいと考えています。

最後に、安平直前会長の活動テーマにもありましたように、「強く」「熱く」「楽しく」魅力あるクラブづくりという想いを今期も引き継ぎ、ウエストの未来をみんなの手でつくりあげていきたいと考えています。



京都めいぷるワイズメンズクラブ
会長 柴田 信幸

= 会長主題 =

『一所懸命』

～個々の力を結集し総合力で奉仕～

クラブ結成30年を目前に控えた29期の会長を拝命いたしました。この29期は、大きな節目に向けて力を蓄え、弾みをつける大切な1年であると考えます。

その大切な1年に何をするべきか？自分は何ができるのか？自問自答の中、たどり着いた答えは、特別な才能も持たない私にできる事、それはとにかく何事にも「一所懸命」にやる！ということでした。この「一所懸命」という言葉は、シンプルだけど力強く、伝わりやすい言葉だと思い主題にもしました。

「懸命」な人の姿は、スポーツの世界でも成績や勝ち負けとは別の次元で感動や勇気を与えてくれます。私たちは、ワイズメンという一つの所で「懸命」に活動することで、その姿は事業の大きさ以上の感動や共感を人に与えられると考えます。また、その感動や共感は、新しい仲間を呼び寄せ、さらに大きな力が発揮できるクラブに成長すると信じます。

ここ数年続くメンバーの減少を食い止め、新たな仲間を増やすためにも、活気とパワーのある「一所懸命」なめいぷるクラブを目指します。

活動としては東日本大震災で被害を受けられた被災地の一日でも早い復興を願い支援を行うと共に復興を目指す日本の未来を担う子供たちに関わる事業に全力を注ぎたいと考えます。



京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 八木裕佑

= 会長主題 =

原点を見つめ、新たな一歩へ

まず抱負に先立ちまして、第14回西日本区大会にご参加くださいまして本当に有難うございました。お陰様で960名の皆様にご参加たまわり本当に盛大な会が開けたことをクラブメンバー一同、心かあら感謝いたしております。

さて、キャピタルクラブは次期、まずクラブメンバーがしっかりキャピタルクラブを理解し、クラブライフを楽しむ事を、原点にして頑張ってもらいたいと思います。会歴の浅いメンバーに委員長さんになっていただき、従来のキャピタルの常識にとらわれない、新しい発想で新しい風をクラブに吹き込んでいただき、今までとは異なるアプローチの仕方、クラブ活動、奉仕活動を推進していきたいと考えております。勿論、西日本区、京都部とも連携を取りながら、事業に強力し、その中でクラブ内の親睦を深めてゆきたいと考えております。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。



京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 岡西 博司

= 会長主題 =
全ての者が一つと成る為に
みんな仲間、生涯の友となろう！

いまだかつて、こんなに難しい時代は無いでしょう。どんな風に、立ち直ってゆく事が出来るのでしょうか？この日本も、我々プリンスクラブも。しかし、ただ、じっと立ち止まっている事は出来ません。みんなが、本当に知恵を搾り出して、必死になって行動を起こさねばならないのです。どこから、手をつけていったら良いのでしょうか？僕にも分かりません。一人ひとりが必死になって考えてください。そして、行動を起こしてください。やらねばならないのです。

唯一つ、分かっている事があります。それは、みんなが仲間であると言う事です。心の底から信じあえる仲間になることです。「僕には生涯の友がある」と言える事が、心の支えになるのです。その支えが有ってこそ、次にやらねばならないことにも挑戦できるのです。

今期はまず、本当の友を作る事から始めましょう。みんな心の底から信じあえる仲間創りから始めましょう。生涯の友に成れるよう努力しましょう。そうなれば、何も怖いものは有りません。僕たちには素晴らしい仲間があるから、何でも挑戦できます。

やらねばならないことは山ほどありますが、一つ一つ片付けていきましょう。

きっと、その先には、素晴らしい未来が見えてくると思います。

「全ての者が一つに成る為に」を合言葉に一年間頑張ってみたいと思っています。

皆様の応援をお願いいたします。



京都センチュリーワイズメンズクラブ
会長 駒谷 憲美

= 会長主題 =
5年後のセンチュリーワイズメンズクラブの為に真剣に一步前進
ONE FOR ALL ALL FOR ONE

わがクラブも発足から来年で25周年を迎える事になります。その大事な時期に初めての会長職をさせていただきます。この時期だからこそ、今一度ワイズメンの原点に立ち返り、本来の存在意義と目的を再確認することが大事だと思います。そのことが、今後の活動のひとつひとつに意味を持たせることになると確信しています。

現在のセンチュリークラブは、少ない人数ですがさらに結束を強め会員相互の交流、親睦、研鑽を深め、同時に社会貢献活動を積極的に展開しクラブの活性化と連帯感を高めていきます。特に今期からは「5年後のセンチュリークラブの為に一步前進」と題し、ワイズに対する理解、共感を深めていただき、会員の増強に努めることを1番に考えていきます。新会員による新しい風がクラブをより活性化させ、さらなるセンチュリークラブの発展につながることから、メンバー全員一丸となって取り組みます。

京都部のメンバーの皆様、仲良く励ましあいながら交流を図り、同時に奉仕活動を活性化していきましょう。



京都ウィングワイズメンズクラブ
会長 島本 浩晃

= 会長主題 =
無理せず楽しく

ウィングクラブは25期を迎えます。四半世紀の歴史を踏まえ、クラブライフが「無理なく楽しく」充実したものとなることを目指していきたいと思っています。

メンバーのクラブライフを考えたときに、私はそれぞれのメンバーが無理をすることなく、自分のスタンスでワイズメンズクラブと関わりを持つことが大切であると思っています。そうした中で、例会や事業の楽しさを感じるにより、自然とメンバーが集まってくる。ワイズメンズクラブは、そんな自然で無理のないクラブであってほしいと感じています。

例会の出席は、メンバーの最低限で唯一の義務でしょう。そうであるならば、例会に出席することが楽しく自分の成長にもつながると、メンバーが無意識の内にそう思えるような例会であってほしい。また、私たちが事業といっている奉仕活動は、クラブの大切な活動です。しかし、義務感だけで出席するのであれば、決して楽しくありませんし継続できないと思います。休日、時間に余裕があればとりあえずワークに行こう。そんな気軽で負担がかからない程度に、自分のできる範囲で参加する。その中で自分なりの面白味を見つけてほしい。クラブが発展することは大切なことなのですが、メンバーひとりひとりが、自分のスタンスで“無理せず楽しく”。その結果、クラブとしても自然に活気がでる。そういうクラブライフが私の理想とするところであり、今期目指していきたいクラブ像と考えています。

京都部のワイズメンズクラブの皆様、1年間よろしくお願いたします。



京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 太田 雅彦

= 会長主題 =
「理想主義者へ 自然体で」
なせばなるチョットやってみましょうよ

我が洛中クラブは本年クラブ設立24年を迎えます。ここ数年は、洛中20周年記念事業、京都部の部長と書記の輩出並びに部会ホストと続き、「二毛作の感」です。そして、これらに集中すべく、会長以外の役割分担は慣れを優先して極力留任する体制が続きました。今期はできれば新味を願って、ビビリつつアンケートをしたところ、交代志望が多く、しかもうまく各役割へと分散の結果が得られました。不慣れ・不得手・久しぶり、といったことも解さず「何でもやってみよう」の心意気は、誠に有り難いことです。

事業計画としては、地域奉仕とYサは、児童養護施設つばさ園のサポート活動を主とする地域奉仕事業とYサ活動を、今までのように、強く連携させた行事を推進します。そして今期の特徴としては、EMCは野外活動例

会へ、できるだけ一人でも多くのゲストに参加してもらったり、10月下旬の日曜日に、京都YMCAリトセンにおいて、「EMCファミリー例会」の開催を検討しています。交流では台湾アジア大会に10人位が参加し、あわせてIBCの台北・大橋クラブと交流する時間を持つ予定です。

9年ぶりで二度目の会長就任ですが、前回の経験を糧にした実りある一年になるよう努力してまいりますので、みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。



京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 梅谷 隆雄

= 会長主題 =
「親睦と奉仕の調和」
親睦の輪を広げ、地域とともに

CS（コミュニティーサービス）のエイブルともいわれている我々京都エイブルクラブは、京都にあるワイズメンズクラブの中で地域に一番密着しているクラブと自負しています。京都府南部地域、特に宇治市を中心に活動している京都エイブルクラブも、今期で早や22年目を迎えることとなりました。宇治福祉まつりや、去年初めて開催させていただいた歌声広場などを通じて地域の皆様と共にクラブを運営させていただいております。

今年は、去年以上のものを、より多くの皆様と作って行きたいと思い、準備を進めているところです。又、我々エイブルクラブメンバーは奉仕と親睦をメインテーマに、クラブ内のご家族、ご友人をも巻き込んだ活動をしています。特に、新年、納涼、クリスマスの例会は活気があり、参加いただいた皆様には充実した楽しい時間を過ごしていただいています。今年の京都エイブルクラブでは、親睦の輪をより一層広げ、活動地域、特に宇治周辺についての理解を深め、親睦という名の下にどのように地域に奉仕していけるかを考え、実行していくとともに、京都に在る十数のワイズメンズクラブの皆様との更なる親睦を深められるような活動をしていければと考えております。是非、皆様には一度、我々の主催する歌声広場やクリスマス例会等に参加していただき、「京都エイブルクラブ」を体験していただければと思います。クラブメンバー一同皆様とお会いできる日を心より楽しみにしております。



京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 中島 勝

= 会長主題 =

今、一人ひとりの瞳を輝かせよう

夢はでかく、奉仕は熱くグローバルクラブ 20 周年を前に

今期、京都グローバルクラブの会長を務めさせて頂くことになりました中島 勝です。さて、我が京都グローバルクラブは活動方針にも述べさせて頂きましたが来期 20 周年を迎えます。メンバー数は現在 55 名と西日本区でも有数のクラブに成長しましたが、今期は 20 周年に向けてメンバー全員のベクトルを同じ方向に合わすべく力を注いでまいりたいと思います。今年 3 月 11 日、東日本大震災が発生して日本全体が沈滞モードに陥っていますが、グローバルクラブは明るく前進して行きたいと思っております。事業として、YMCA 様へのサポートはもちろんのこと地域奉仕に関しましても従来より支援させて頂いております修光学園様へのサポートの強化、交流では IBC 締結先の台湾エバーフロークラブ様 20 周年記念例会への訪問、DBC 締結先の熊本クラブとの交流、今村交流事業主査様の熱い想いを受けて京都部の他のクラブとの積極的な交流を図ってまいりたいと思います。そして、EMC におきましては実働メンバー 70 名を目指し、新たな会員メンバーの増強、そして在籍メンバーの資質向上に取り組んでまいりたいと思います。会長主題として『今、一人ひとりの瞳を輝かせよう！』と掲げさせて頂いております。私一人の力では何も出来ません。どうぞ京都部の皆様一年間よろしくお願い致します。



京都みやびワイズメンズクラブ
会長 武本 聡

= 会長主題 =

BIG SMILE (ビッグ・スマイル)

力を合わせて笑顔の連鎖反応

元々みやびクラブの今期の会長主題にしようとしていた言葉は『三方善し』だったのですが、この三方とは「Y's」と「仕事」と「家庭」の事です。これは今年の私自身の目標であり、他のみやびクラブのメンバーの目標として

頂きたいとも思っています。私自身の三方は会長前、Y's＝適当、仕事＝そこそこ、家庭＝下り坂と、それなりに低調ではありますが三方のバランスは取れていたと思うのですが、会長になってから(3月の研修が始まってから)この三方のバランスは完全に崩れました。まずY's＝会長就任によりパニック、仕事＝順調、家庭＝崩壊寸前、なんとか仕事が順調な事により残りの二方を引っ張っている感じですが、このようないびつな状態で人生上手く行く訳が無く、現在ではY'sと家庭が仕事の足を引っ張るという悪循環に陥りかけております。

私の先輩にあたる方々はこの三方のバランスを取って来られてると思うのですが、新しくY'sに入られた方は私のような三方のバランスが崩れたどれか一つに偏った状態になる事無く、しっかりとそれぞれのバランスを取って自分や周囲の人と共に充実した時間を作りだせるよう心がけてください。そのような人がY'sにおいて一人でも多く増え、笑顔を溢れるクラブ活動となる事が私の抱負であります。BIG SIMILE !!



京都トップスワイズメンズクラブ
会長 東田 吉未

= 会長主題 =

ONE STEP BEYOND!

ROAD TO TOP OF TOPS

第18代会長に任命して頂いて約1年、訳の分からないいまアッチコッチで頭を打って何とかスタートラインに立てる感じになってまいりました。

今期の当クラブは、まずは一丁目一番地にEMCです!。前期は我クラブからEMC主任・主査を輩出した事によりクラブ内でも大いに活気づき大幅な増員となりました。今期もその勢いを止めることなく20人増の目標をたております。また、親睦に対しても力を注ぎ、例会・オプション等を充実し一枚岩での京都部のトップを目指します。

次に、事業の再検証です。毎年行っている事業が本当に必要か?必要ならば内容は、このままで良いのか?もっと私たちの事を必要に思っ下さる方はいないか?自問自答しながらマンネリ化の防止や新しい発見をして歩んで行きたいと思っております。同時にクラブメンバー一丸で邁進できるような新たな目標を模索したいと思っています。

最後は、次期に私たちのクラブから京都部部長を輩出いたします。輩出するにあたりクラブ内での地盤を強化し京都部の運営及び、京都部部会の開催を成功させる事

このような事が“絵に描いた餅に”にならないように禪の紐を締め直して頑張っていく所存です。



京都トゥービーワイズメンズクラブ
会長 石井 康史

= 会長主題 =
笑門来福

クラブライフをエンジョイしましょう！

16期会長を拝命しました石井康史です。

トゥービークラブはチャーターから、西日本区大会、京都部会のホスト・・・そして前期「ZERO クラブ チャーター」と、この15年突っ走ってきたように思えます。その都度メンバーは自分なりに楽しんできたようでは有るのですが、今一度見つめなおしてクラブライフを思いっきり楽しんでいこうと思います。

入会のきっかけは様々ですが、折角ワイズメンズクラブに入ったのですから積極的に楽しまなければ、MOTTAINAI ではないでしょうか。そうすれば、楽しさがいろんな所に伝染していく筈です。京都部皆様にも伝わっていけば抜群ですね。

今期会長主題の「笑門来福」(いつもにこにこしていて、笑が満ちている人の家には自然に福運がめぐって来る)は 家庭や、仕事が円満 <————> クラブライフが充実するこんな感じになって欲しい気持ちから今期の主題とさせていただきました。

京都部 YMCA サービス・ユース事業主査として伊藤ワイズを輩出しております。トゥービークラブ挙げて、主査抱負である「YMCA とワイズメンズクラブの良きパートナーシップ確立」を目指してバックアップしていきます。

今期は DBC の熊本ジェーンズクラブは25周年を迎えられ、又 IBC の韓国安東クラブの DO 氏が東部地区の理事に就任されます。おめでたいことが目白押しです。このパワーも戴いて充実したトゥービークラブに行きたいものです。

1年間よろしくお願い致します。



京都東稜クラブワイズメンズクラブ
会長 近藤 勉

= 会長主題 =
『和』

Take and Give ～ 受けた感謝を奉仕に！

今期の会長主題を『和』とさせていただきました。『和』とは、1 に足し算の答えという意味があり、メンバーの心が一つ一つ繋がり、新たなメンバーが足される事により強固な組織となることを望みます。2に『和』は和む(なごむ)読み、クラブに集まったメンバーは心穏やかに気持ちやわらぐような会運営を目指します。3に『和』の意味には性質の異なるものが解け合うという解釈もあるようです。拡大解釈になりますが、これまでのクラブには無かった試みにも果敢にチャレンジし、東稜クラブらしさを大切に2年後、5年後を意識した取り組みが出来たらと考えています。

たった一年では何も出来ないと思います。しかし、これまで積み上げられてきたクラブの歩みを継続する。これからのクラブの第一歩と考え、与えられたこの任期で精一杯、出来る事を一つ一つ、メンバーの力・家族の力を借りて実行してゆくつもりです。

皆様の大きな支えにより、次期に繋がる一年にしたいと考えております。どうか皆様のご協力とお力添えを心よりお願い申し上げます。



京都ウエルワイズメンズクラブ
会長 松田 博一

= 会長主題 =
Proud of well
誇り高きウエルクラブ

ここ数年、クラブメンバー数の減少から、行事の簡略化を行ってきた。月2回行う例会のうち一回を役員会に置き換えたり、委員会を省略したり、三役会を簡素化したり・・・

数えればきりが無い。

すべては、「メンバーが少ないから、一人ひとりの負担を減らすため」であった。結果、ますますメンバーは減っていった。

この期に及んで、誰が悪い、何が悪いとは言いたくない。それより、基本に立ち返り、正常なクラブ活動を目指そ

うと思う。本来ウェルクラブが行ってきたYMCAへのサービスを軸に、例会を自己研鑽と親睦の場とし、誇りあるワイズメンとしてクラブ活動をおこなっていききたい、そのために

- ①月2回の例会開催
- ②三役会、役員会、委員会の正常な運営
- ③自己研鑽
- ④クラブ員相互の親睦
- ⑤YMCAへのサービス

以上を活動の柱としてクラブ運営を行っていきたい。これをご覧になった多くの方々が、失笑されるに違いないと思う。しかし、こうしなければならないほど、危機的な状況であると感じている。このウェルクラブの方針に快く協力することを承認していただいた、親クラブであるプリンスクラブの皆様から感謝申し上げます。



京都 ZERO ワイズメンズクラブ
会長 高倉 英理

“ 会長主題 ”

楽しみましょう！ZERO クラブを！
一人一人を大切に、人と人とのつながりを大切に

次期会長の突然の退会により、私がもう一年会長をさせて頂くことになりました。予期せぬ出来事で、私自身大いに悩み、迷いましたが、このことでメンバーの中で様々な意見交換をすることが出来ました。雨降って地固まると言います。今回のことを大きな糧とし、より一層ZERO クラブメンバー一丸となり、より楽しく、より充実したクラブとしたいと思います。

一人一人を大切に、人と人とのつながりを大切に、メンバー数40名を早期に実現させるべく、一年間活動していきます。例会、委員会、役員会、ハッピーアワー(EMCの集い)、オリエンテーション、ワーク等、メンバーが集う時間を大切に、メンバーがより参加しやすくなる工夫を柔軟に考えていきたいと思っています。そのために、いつでもどこでも、メンバーみんなが忌憚のない意見を交わすことができるように心がけます。これからまだまだいろんなことがあるでしょう。泣いたり、笑ったり、怒ったり、すべてのことをゆるゆると楽しんでいけたらと思います。

今期は、メンバーそれぞれの個性がクラブの活動にもあふれること、メンバーを増やすこと、この二つを念頭に活動していきます。ZERO クラブ、飛躍の二期目となる予感がします。

より一層のご支援、ご協力よろしくお願い致します。

2011～2012 年度 西日本区強調月間リスト

月	活動
7	Kick-off EMC-C
8	Youth Activities
9	Menette
10	BF
11	Public Relations Wellness
12	EMC-M
1	IBC・DBC
2	TOF・CS・FF
3	EF・JWF
4	YMCA サービス ASF
5	LT leader - training
6	評価・計画
通年	PR

2011～2012 年度西日本区事業目標

YMCA サービス・ユース献金 (国際ASF含む) 1人当たり 1500円	メネット国内プロジェクト
地域奉仕活動 (CS 献金) 1人当たり 1500円	メネット国際プロジェクト
TOF (Time of Fast) 断食の時 1人当たり \$16	E (Extention) 新クラブ設立 +2クラブ
FF (Family Fast) 家庭での断食 ファミリー当たり 800円	MC (Membership&Conservation) 会員増強と意識高揚 前期末+100名
BF (Brotherhood Fund) BF 資金 1人当たり \$15	LT (Leadership Training) 次期役員研修、次期会長・主査 研修 各1回
BF (Brotherhood Fund) 使用済み切手収集	R・Bulletin 西日本区報 発行予定年3回
EF (Endowment Fund) 記念すべき時に献金 PWA \$120 年間 \$5000	JWF (Japan West Y's Men's Fund) 西日本区ワイズ基金 1口5000円 年間50万円

※US\$表記の目標金額については、2011年11月開催の、第2回役員会に於いて、当該為替交換レートを確定の上、円換算の金額を発表させて頂きます。